

ID: _____ 氏名: _____ 実施日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

下の文章を丁寧(読みやすい字になるよう)にお書き下さい。

<h1>身近なたとえに置き換える</h1>		

池上彰著, 相手に「伝わる」話し方, 講談社現代新書, 2002 より引用

所要時間	分	秒(秒)
------	---	----	----

書き終わったら, 書きやすさの印象を下の線上のもっともあてはまる箇所に印を付けてください。

難しくない _____ 難しい

記入例 : それほど難しくないと感じた場合

難しくない _____ / _____ 難しい

ID: _____ 氏名: _____ 実施日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

下の文章を丁寧(読みやすい字になるよう)にお書き下さい。

<h1>身近なたとえに置き換える</h1>		

池上彰著, 相手に「伝わる」話し方, 講談社現代新書, 2002 より引用

所要時間	分	秒(秒)
------	---	----	----

書き終わったら, 書きやすさの印象を下の線上のもっともあてはまる箇所に印を付けてください。

難しくない _____ 難しい

記入例 : それほど難しくないと感じた場合

難しくない _____ / _____ 難しい

※書きやすさの主観(VAS10cm法)を測定する場合は, 必ず A4 サイズ 100%指定で印刷してください。

<実施要項>

- ・所定の文字の模写を行い、すべての模写にかかる時間を測定する。
- ・丁寧に読みやすい字となるよう書くということを指示する
- ・模写後に「書きやすさの印象」をVAS10cm で測定する

※なぜ丁寧に読みやすい字となるように指示するか

教育学の分野ではきれいな字ではなく、丁寧に読みやすい字を書かせるよう指導しているようである。このことをふまえ、この書字評価では「丁寧に読みやすい字となるように」指示することとした。

《参考文献》磯野美佳他: 手書き文字に対する読みやすさ等の感覚とその世代差に関する研究. 書写書道教育研究 14:2000.
<http://www.shosha.kokugo.juen.ac.jp/oshiki/ronbun/Kankaku2000/index.html> (2005. 2. 7 検索)

<実施手順>

- ①被検者に1. 文章を下の枠内に模写すること, 2. 丁寧に読みやすい字となるように書き写すこと, と提示する
- ②開始: 所要時間を測定する
- ③書き終わったから, 下のVASに「書きやすさの印象」を記入してもらう

<参考データ>

平均書字時間: 32.58 ± 9.15 秒 (47 名, 平均年齢: 21.13 ± 1.97 歳)

※すべて利き手筆記によるデータ. 評価にはボールペン(MITSUBISHI 製 SN-80)を使用.

以上, 文責: 昭和大学保健医療学部作業療法学科作田浩行 OTR